

# 幼児教育に對する所感

東京女高師附屬小學校 田代 順之

舊任地に於て尋常一年を擔任した事が二回ある、過去を追憶して所感を述べて見やう。

級中に非常に發育のよい一人の女兒があつた、兄弟は二人だけで兄は尋五の首席といふ優秀な兒童である。家庭は父母と四人暮しで町の家並よりは餘程離れた静かな森の中にある、両親は非常に教育に熱心の方で、お父様は軍隊の休みの時には時折學校へ參觀にいらつしやるし、お母様は第一學期間位は毎週一回は必ずお顔が見えた。それはつゝまじやかな何事にも綿密の方であつた。けれども決して保守退嬰的の方ではなかつた。ところがその女兒といつたら非常に保守退嬰的で、殆ど自發的に活動することがない。只管教師の指示のみを待つてゐる。他の兒童が教師の指示なしにどん／＼雑多な作業をやりだすのが氣になつて、その方に精神を勞する傾きがあつた。家庭へ歸つて絶えず他兒童のこの積極的自發活動を氣に惱むであつたといふことである。併し教師から何か作業を指示されると、それに關しては非常に熱心にやつてはゐた。それで色々と就學前に於ける家庭教育の様子を聞いて見るに、女兒でもあるし附近に恰度よいお友達もないとの事で、殆ど家庭から出ることなく母の膝下で育つて來たのである。そ

して綿密な母の注意によつて總て生活をして來てゐた。家庭も至つて圓滿であり、兄も非常に從順の子供で妹にからかふといふやうな事も滅多にないらしい。それであるから、その女兒もかくまで素直にと思はれる位素直に育つてゐた。が併し一ヶ月二ヶ月と經つ中にどうも學習上に大なる缺陷を明瞭に現して來た。それは、

一、子供にも似はず活動性に乏しい。他の兒童が木登りしたり、肋木に登つたり、庭で相撲をとつたりするのを見ると、恰度お婆さんが心配する如き様子で危んでゐる。裏庭の廣い芝生へ兒童をつれ出すと他の子供は蜘蛛の子を散らしたやうに嬉々として馳け廻るのに、この兒獨りは跳足で芝生を踏むのが大義と見えて戦々兢兢といふ體、春日を浴びて只つくねんとこの陽氣の情景を見守つてゐるばかり、これには私もどんなに苦心させられたか知れない。

二、直觀を根柢とした觀念が甚だ貧弱である。子供といふものは種々雜多な遊戲の間に或る根本觀念が養はれ、内面生活が豊富になつて行くものであるが、彼は母の膝下で概念を注入され、記憶を要求された點はあるけれども直觀、體驗による根柢ある觀念を得る機會は多く與へられなかつた事は疑ふべからざる事實となつて現れて來た、即ち觀念に確實性なく明瞭性を缺いてゐた點からどうも聯想力鈍く、類化力が乏しかつた。

三、感覺の練習が不足である。第一動作が至つて遲鈍で敏活を缺いてゐた。筋肉作業をやらせて見る

に熱心にはやるが、自分で満足するものがなく、出来ない。書取をやつて見るとこの兒に限つて聞き誤りが多い。殊にダとラなどは常に間違つてゐた。計數器の球を一瞬間示して前と同數だけ取り上げ示させて見るに之も他兒童に比してどうも不正確である。

四、觀念が貧弱な結果考へる働きの誠に乏しい。考へるといふ事は觀念と觀念との間に存する關係から生れて來るものであるから具體的の多くの觀念の持合せのない子供に考へる力の足りないのは當然の結果といはなければならぬ。

五、表現成績が悪い。直觀が豊富に行はれば、そこには自ら精神力の陶冶も隨伴し内面生活が豊になつてくる。内面生活が豊富になれば表現力も伸びる、内容なしで表現は成立しない。彼の女兒の圖畫手工は勿論言語の表現も甚だ振はない。圖畫は第一學期中、野原に覺束ない、草花が二三本それに太陽がいつも輝いてゐた。手工材料があつても、砂場へ行つても何を形造らうといふ考へが浮んで來ない、私は決して表現の技術などは問題にしてゐたのではない、彼等はどうなことを意識して表現してゐるか、其の表現を通じて如何にして彼等の内面生活に觸れた指導をしようかと專念してゐたのであるが、かうした子供には何といつても直觀によつて内面生活を豊富にする事が最大急務であると痛感したのである。要するに此の女兒は幼兒時代大人といふ埒内の母といふ温床を一步も踏み出さず、か弱くするくくと伸びた子供である。開放された青天井の下、幼兒の世界に遊ぶ機會を失した子供であつたのである。前

記の缺陷は全然之が爲めと斷定する事は餘りに早計ではあるが少なくとも相當大なる關係の存する事は信じて疑はないのである。

級中之とよい對照として次のやうな男兒があつた。家は町の本通り近く附近は多くの子供の集り遊ぶ地域にあつて旅館といふ家業柄多くの人が出入し、兩親は繁忙の上子供の教育といふことは考へない譯でもなかつたらうが、手は届かなかつた。又餘り教育的見識あるとも見られなかつた。随つて懇話會にでも特と懇話する機會を得なかつた位である。兄弟澤山あつた。家庭に於て喧騒であれば小使錢を與へて外出させる事も屢々であるとは子供が言つてゐた。買喰などは平氣なもので往來で私の目にも觸れた位。活動寫真なども折々見てゐる。躰が粗野で朝洗濯した着物を着せて出せば夕には泥まみれとなつて歸る位は平常である。田甫や、小川に魚取りもよし、泥水に水浴はやる、山に・野に・至る處附近廣範圍に亘つて彼の遊び庭ならざるはなしの有様であつた。遊び友達と喧嘩をすることも珍らしくもなかつた、併し彼自身の性質は決して偏屈ではなかつた。至つて淡白な明るい兒であつた。かくして野育ち同様にして幼児期を過して來た彼は字も知らなければ、數へ方なども碌々知らなかつた。併し次の様な特異點は明瞭に現はれてゐた。

一、斷片的、部分的ではあつたが非常に豊富な觀念を有してゐた。教室に於て型にはまつた學習をやらせたら、或は彼は劣等生に見えたであらう。併し彼等の生活を重視し、之を發展させ教育的見地より

指導して行くといふ立場を取るに於ては確に彼が生活内容が豊富であつたゞけ、それだけ指導上良好の状態に在つた事は見逃すことが出来なかつた。直観體驗を根柢として産み出された其の觀念には確實性があり明瞭性があり、理解力を容易ならしめてゐた。平生教室内での暴れ者も、私の話を聞く時の態度といつたらそれは實に真劍なものであつた。彼は机の上まで乗り出して聞いてゐる。そして話の内容が自分の體驗を呼び起し想像の刺戟となつたやうな場合は自分を忘れて教卓へ飛び出してくる。その感激の表情話の内容にとけ込んで他に何物もない純眞の態度、彼は話の理解想像に於ては決して他兒童には劣らなかつた。

二、野性は満ちてゐた。生き物を見れば捕へて慘めて見る。果物は何でも取つて見たい。芽や花は手當り次第摘み取るといふやうな事は平氣であつた。私は此の野性を無暗に奪ひ去らうとはしなかつた。そこには必ず伸ぶべき萌芽が存在してゐるからである。其の芽に培ふことが、本當に彼の生活を指導する所以で、彼も臆ては矢鱈に生き物を殺したり、果物や草花を勝手に摘み取る事はしなくなつた。けれども彼の活動性は決して鈍らず益々發展して行つた事を思ふ時、私は少なからず愉快を感じたのであつた。

三、觀察力が鋭敏であつた。物を發見し之を捕集することには妙を得てゐた、それは生物などの運動法を至細に觀察してゐる結果であることが其の説明によつてわかつた。私は或時草叢で遊んでゐた兒童

を呼んで蝶は花にとまつて何をしてゐるか見て来るやう命じた。ところが、此の兒は暫く影を見せなかつたが、臆て勇み立つて歸つて來た、彼は確に筒狀の口器を觀察して來たのである。彼は花間に踞つて遂に觀察し得た事を報告してゐる、又町中を引卒して通過した後尋ねて見ると道の分岐點とは必ず何か觀察して置くのには驚いた。之等は彼が兄などに伴はれて道に紛れた際などに養はれた注意力、觀察力であらうと背かれた。

三、表現は上手ではなかつたが、斷片的には巧であつた即ち言語方面の發表は下手であつたが、表情を以て表現することは巧であつたのである。直觀に基く其の表現は常に確實性を持つてゐた。圖畫手工の如き構成的表現は最も拙劣であつたが、構成の意識内容はなかく豊富であつた。

四、其他思考力、記憶力、想像力など可成芽を出してゐた様に思はれた、特に彼の意志の強かつた事は彼が幼兒時代遊び廻つてゐる間に餘程養はれた點が觀察された。

それで第一學期間に於ける學科課程の成績は劣等の方であつたが、二學期、三學期と進むに隨つて成績が向上し學年末には中位にまで進むでゐた。

此の二者の例は極端と極端の對照で「過ぎたるは及ばざるが如し」の譬に洩れず何れも可なりとする譯には行かないが、幼兒の教育上多少の參考になりはすまいか、良家の子弟が餘りに大切にされて幼兒自然の道程を踏む機會を失つて終ふ様なことがあつては甚だ遺憾な事であると思ふ。子供は或點に於て

總て平等無差別である、教育的見地から多少考慮を要すべき點がありはすまいか。私は幼稚園教育等に於ても世間で見るやうな程度の高い、兒童の無理解な遊戯、童謠や童謡踊を教へて大人だけが満足してゐるのではどうかと思ふ。もう少し幼兒の自然に歸つて直觀、體驗を基礎とした生活をさせたいと思ふ、大人の考へる概念の注入などは百害あつても、一利なしと謂ひたいのである。圖畫の先生の話を聞くと尋常一年に入學した兒童の中、圖畫の天才とか期待を持つた兒童が學年を追つて味のないものを書き却つて下手になつて終ふやうなのがある。これは意識の伴はない技術の暗記であつて、非常に障害になる。そうしたものが本當に伸びるには其の技術の殻を脱ぎ捨て、個性に立ち歸つてスタートした時であると面白い事を聞いた。

### 群馬縣保育會總會

十月十七日、 館林小學校附屬幼稚園にて

一、實地保育參觀批評

二、新幼稚園令について、 倉橋惣三氏

縣内公私立幼稚園保母諸君會合盛會であつた。